

空の手

rocksan

からの手で空を掴んだはずなのに
開いてみれば黒く汚れてる
漂う不安が未来を濁しているようだ

何も無い公園で遊ぶ子供達
痛みを奪われた代わりに
立ち上がる術を無くしてしまった

風が吹いてる
終わった夢と一緒に
指の間をすり抜けて
何も残さず消えて行く
あの日の歌はもう思い出の中だけ

からの手でできる事はなんだろう
尋ねてみても聞き流され
存在する価値さえも分からなくなりそうだ

欲望は枯れ果ててしまったのに
積み重ねられた物たちに
潰されそうで声を出す力も無い

雨が降っている
見え掛けた真実を隠すように
指の間を流れ落ち
温もり奪って消えて行く
あの日の君はもうどこにも居ないよ

空の手に過ぎた時間だけが刻まれた